

総研大生受賞者紹介

高橋 昭博 (物理科学研究科機能分子科学専攻) 第41回酸化反応討論会においてポスター賞を受賞

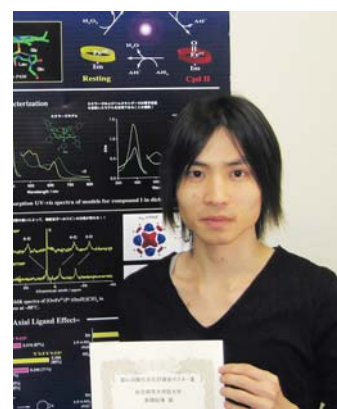
総合大学院大学機能分子科学専攻博士課程の高橋昭博君は、2008年11月27日、28日に九州大学で開催された第41回酸化反応討論会においてポスター賞を受賞した。酸化反応討論会では、本年度から学部、大学院に在籍する学生のポスター発表の中で、発表内容、プレゼンテーション、質疑応答などにおいて優れた発表に対してポスター賞を贈呈している。今回は、対象ポスター発表22件の中から3件がポスター賞に選考された。

今回の受賞対象となった高橋君の発表は、「ヘム酵素反応中間体Compound Iの活性制御因子に関する研究」と題するものであり、彼が学位取得のため総研大に入学後精力的に取り組んでいる研究の一部である。生体内で働くチトクロームP450、ペルオキシダーゼ、カタラーゼ

などのヘム酵素は、Compound Iという共通の活性反応中間体を生成して機能している。興味深いことにCompound Iが行う反応は、チトクロームP450ではアルカンやアルケンの水酸化、エポキシ化反応、ペルオキシダーゼではアミンやフェノールの一電子酸化反応、カタラーゼでは過酸化水素の分解反応など、酵素ごとに異なっている。彼は、これら酵素がCompound Iの活性をどのような機構で制御しているのかを解明するため、Compound Iのモデル錯体を合成し、その電子構造、反応性を研究している。今回の受賞は、Compound Iの反応性を制御する重要な因子の一つを見出し、それを実験的に証明した研究成果に対するものである。今回の受賞は、昨年度の日本化学会「学生講演賞」に続く2

回目の受賞である。今回の発表内容は、国際的学術誌に投稿中である。今回の受賞を糧に、今後の高橋君のさらなる飛躍を期待している。

(岡崎統合バイオサイエンスセンター
藤井 浩・主任指導教員)



平成20年度9月総合研究大学院大学修了学生及び学位論文名

物理科学研究科 (構造分子科学専攻)

氏名	博士論文名	付記する専攻分野	授与年月日
大久保 公敬	Synthesis, Characterization, and Transport Property of Perfluorinated Oligofluorenes	理学	H20. 9.30

物理科学研究科 (機能分子科学専攻)

氏名	博士論文名	付記する専攻分野	授与年月日
PHAM, Hong Minh	Ultraviolet Laser Emission from a Micro-Pulling Down Method Grown Ce^{3+} : LiCaAlF ₆	学術	H20. 9.30
CADATAL, Marilou	Vacuum ultraviolet optical properties of micro-pulling down method-grown Nd^{3+} -doped fluoride crystals	理学	H20. 9.30
PHONGPHANPHANEE, Saree	Conduction Mechanism of Aquaporin Channels Studied by the Statistical Mechanics of Liquids	理学	H20. 9.30

総合研究大学院大学平成20年度(10月入学)新入生紹介

専攻	氏名	所属	研究テーマ
構造分子科学	伊佐美 恭平	物質分子科学研究領域	シリコン基板 (Si(111)) 上の薄膜構造および磁性研究